

りそなグループ 統合報告書 2026

ディスクロージャー誌（ハイライト編）



りそなグループ理念体系

りそなグループの理念体系は、私たちが「社会にどのように貢献するか」(パーパス)、
「社会のなかでどうありたいか」(経営理念)を実践していく先に「目指す姿」(長期ビジョン)、
これらを体現するために「どのように行動するか」(行動宣言・指針)を表したものです。

金融+で、 未来をプラスに。

社会がどのように変わっても、
安心して前を向けること。
希望を持って踏み出せること。

そのために私たちは
一つひとつの地域に寄り添い、
金融の枠にとどまらない発想で
小さなことでも、大きなことでも、
未来をプラスに変えていく。

たくさんの安心と希望、
そしてワクワクする未来のために、
私たちりそなは、変革と創造に挑み続けます。

リテールNo. 1

お客さま・地域社会にもっとも支持され、
ともに未来へ歩み続けるソリューショングループ

パーパス

社会にどのように
貢献するか

経営理念

社会のなかで
どうありたいか

りそなグループは、
創造性に富んだ金融サービス企業を目指し、
お客さまの信頼に応えます。
変革に挑戦します。
透明な経営に努めます。
地域社会とともに発展します。

長期ビジョン

— 目指す姿 —

行動宣言／指針

(りそなWAY／りそなSTANDARD)
どのように行動するか

りそなWAY

各ステークホルダーに対する姿勢を具体化

お客さまと
「りそな」

株主と
「りそな」

社会と
「りそな」

従業員と
「りそな」

りそなSTANDARD

役員・従業員の具体的な行動を明文化

お客さまの
ために

変革への
挑戦

誠実で
透明な行動

責任ある
仕事

働きがいの
実現

株主の
ために

社会からの
信頼

「良き企業」を目指して

“

「『企業は、お客さまや市場に価値を提供するのが存在理由』であり、
『社会に何をもたらすために存在するのか』という基本命題を正面に据えながら経営の原点に立ち返る必要がある」

「りそなグループが持続的に成長していくためには、『良きことを行う企業』であること、
そして、その企業で働く人は『良き人間』である必要がある」

”

細谷元会長のこれらの言葉は、経営理念とりそなWAYを具体的行動レベルで明文化した
「りそなSTANDARD」(りそなグループ行動指針)の冒頭に記載され、りそなグループ従業員の「道標」となっています。



細谷英二 元会長(故人)

2003年6月、りそなグループへの公的資金注入に伴い、東日本旅客鉄道副社長からりそなホールディングス会長に就任し、その後の「りそな改革」を牽引。

細谷元会長が推進した「心の改革」

りそなの常識は
世間の非常識

“知”は
現場にあり

厳格に、
嘘をつかない、
先送りしない

目次

Section 1

価値創造ストーリー

5 CEOメッセージ



11 社外取締役座談会



17 CSO/CSuO/CHROメッセージ



22 マテリアリティの選定プロセス

23 CFOメッセージ



28 価値創造の原動力—りそなの歩み—

30 価値創造の原動力—りそなの強み、概要—

31 価値創造モデル

32 パーバスの浸透

Section 2

価値創造を実現するための取り組み

34 新中期経営計画

36 コア事業の成長 資金循環の強化

39 コア事業の成長 ソリューションの持続的増強

43 次世代成長ドライバーの創出

46 経営基盤の構造改革

Section 3

価値創造を支える仕組み

61 環境・社会

73 ガバナンス

Section 4

財務・非財務情報、会社情報

94 財務ハイライト

96 非財務ハイライト

98 会社情報

りそなグループ統合報告書2026のポイント

ポイント① 新中期経営計画の策定とマテリアリティの見直し

2026年度より、長期的に目指す姿からバックキャストした新たな中期経営計画「Shift to the Next Stage — 新たなカタチをつくる3年間 —」をスタートさせました。また、りそなグループが目指したい未来社会(=“未来をプラスに”)の実現に向けて、自社が優先的に取り組むべき領域や自社内の課題をマテリアリティとして明確化しています。CEOメッセージでは、これらに対する想いや背景をわかりやすくお伝えするとともに、持続的な価値創造に向けた決意をお示ししています。

ポイント② 大槻 奈那氏と社外取締役の座談会

長年金融セクターの調査・分析で活躍されている大槻 奈那氏(ピクテ・ジャパン シニア・フェロー/名古屋商科大学大学院 教授)を迎え、取締役会議長、指名・報酬・監査の3委員長との座談会を行いました。外部有識者の視点も交えながら、取締役会における議論の充実、各委員会の役割、社外取締役による監督機能の発揮などにかかる対話を通じて、持続的な成長を支えるガバナンスをりそなグループがどのように強化しているのか、その現在地と方向性をお伝えしています。